

てんかんの地域診療連携体制推進のためのてんかん診療拠点病院運用ガイドラインに関する研究

てんかん患者の包括的治療ケアのためのストレスおよび睡眠の量的質的状态調査とそれらの SUDEP リスクとの関係の分析

研究分担者：高木俊輔 東京医科歯科大学精神科

研究要旨 てんかん患者の包括的治療ケアのためのストレスおよび睡眠の量的質的状态調査とそれらの SUDEP リスクとの関係の分析

質問紙、睡眠日誌を用いててんかん患者のストレス、不安、睡眠状況の調査を行う。また、調査可能であったてんかん患者の発作頻度などの情報を収集し、SUDEP リスクの推定を行う。これらによりてんかん患者の心理社会的問題、随伴症状、生命予後など発作以外にありうる多種の問題点を包括的に把握し、関係を研究する。

A. 研究目的（項目タイトル）

質問紙、睡眠日誌を用いててんかん患者のストレス、睡眠状況を調査する。そしてこの結果と SUDEP リスクアセスメントの相関を分析する。これらによりてんかん拠点病院で必要とされる、発作予後に限られないメンタルヘルスから生命予後に渡る包括的なアウトカムを評価するための視座を更に発展させる。

B. 研究方法

てんかん専門クリニックおよびてんかん拠点病院を複数含む病院にて通院患者に対して質問紙研究を行う。複数の病院は現在東京医科歯科大学付属病院、聖マリアンナ医科大学付属病院、沖縄赤十字病院、新宿神経クリニック、はらクリニックに協力いただけることになっており、てんかんの 2-3 次診療を十

D. 考察

結果が得られたのちに考察する。

分に含む内容になっている。行う質問紙は J-SACL ストレステスト、STAI 状態-特性不安検査、ピッツバーグ睡眠質問票を使用し、これらの結果とそれぞれの症例の診療録から SUDEP のリスク評価法である SUDEP-7 の評価に必要な項目の情報を得て、これらの関係を解析する。

（倫理面への配慮）

当研究は質問紙研究であり、心的外傷に関わる質問内容はないため、被験者には侵襲はない。結果の取り扱いについては対照表を作成することで匿名化し、個人情報の保護に努める。そのため、倫理面での問題はない。

C. 研究結果

現在、各施設にて倫理申請を行い、研究体制を構築している。

E. 結論

結果が得られたのちに結論する。

F. 健康危険情報

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

1. 特許取得

2. 実用新案登録

3. その他